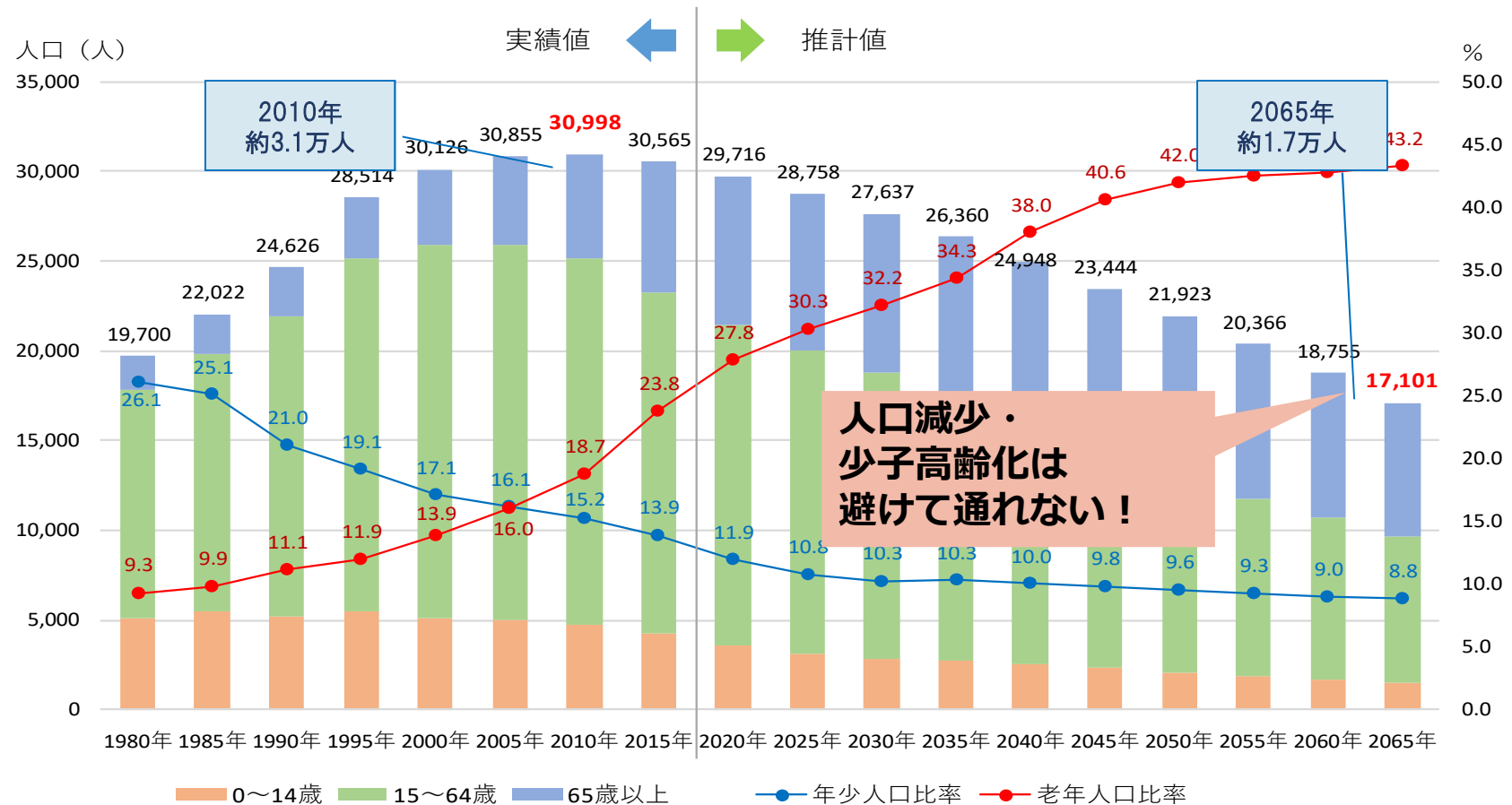


神保原駅北 まちづくり基本構想（案）

令和3年11月 上里町

1.まちづくり基本構想について

人口減少・少子高齢化等の町を取り巻く環境の変化



◆（資料：【実績値】国勢調査、【推計値】国立社会保障・人口問題研究所（社人研）
（第2期上里町人口ビジョン：推計パターン1）

1.まちづくり基本構想について

神保原駅がもつポテンシャル

首都圏を南北に縦断する鉄道幹線上
に位置する

限られた場所にしかないこのポテンシャルを
最大限に生かした市街地形成の推進がポイント

1.まちづくり基本構想について

①神保原駅周辺を「中心拠点」として位置づけ

②「都市機能が集積した、コンパクトかつ町内の各地が交通ネットワークで結ばれたまちづくり」を推進

③「誘導すべき都市機能」を定め、まちのにぎわいや活気を向上するための方策を検討



◆出典:上里町都市計画マスタープラン

1.まちづくり基本構想について

まちづくり実現のためにまずは、

神保原駅周辺が抱える問題点

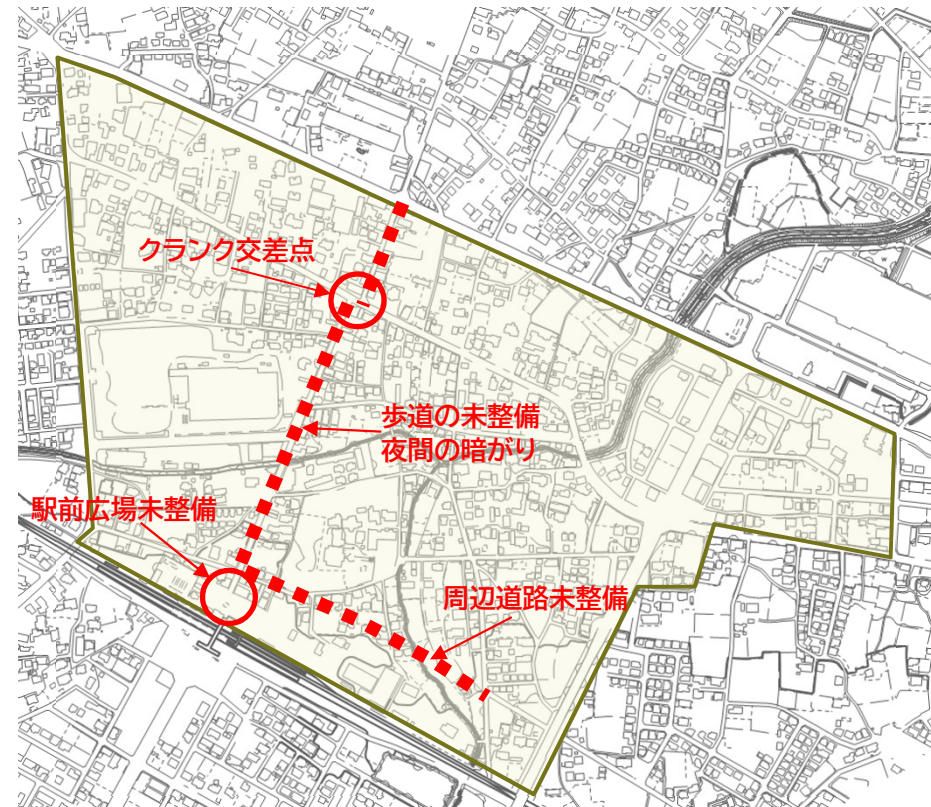
の整理が必要

1.まちづくり基本構想について

駅周辺と町全域とを結ぶアクセスの脆弱性

- ・クランク形状の交差点
- ・歩道の未整備
- ・夜間の暗がり
- ・駅前広場の未整備
- ・周辺道路の未整備

上記問題点の改善を中心に行う



2.まちづくりの考え方

(1)まちのなりたちと現状

【まちの近代化】明治期～大正期

神保原駅ができ、骨格となる道路が整備され、工場が立地したことにより、上里町の近代化が始まりました。

1911年(明治44年)の駅周辺



- 駅周辺は樹林地が中心
- 旧中山道から神保原駅までをつなぐ道路が通っている
- 中山道沿いに集落が広がっている
- 駅周辺に建物は少ないが、駅北側に大規模な製糸工場が立地している

2.まちづくりの考え方

(1)まちのなりたちと現状

【まちの拠点化】大正期～昭和期前半

神保原駅周辺は、町内の人(工場で働く人、住む人)やモノ(商店、繭・糸等)が集まる、地域の拠点となっていました。

1934年(昭和9年)の駅周辺



- 駅周辺は建物が多くなり、市街化が進んでいる
- 駅から離れると、樹林地から桑畑となっている
- 当時の資料によると、1950年～60年(昭和25年～35年)頃には鮮魚店、乳業店、焼肉店、パン販売店など様々なお店が立地していた

2.まちづくりの考え方

(1)まちのなりたちと現状

【まちの過渡期】昭和期後半～現在

車社会化、絹産業の需要の変化、郊外への大型店舗の立地により、神保原駅周辺は、人やモノが以前のように集まらず、ただ通過する場所となっていました。

現在の駅周辺

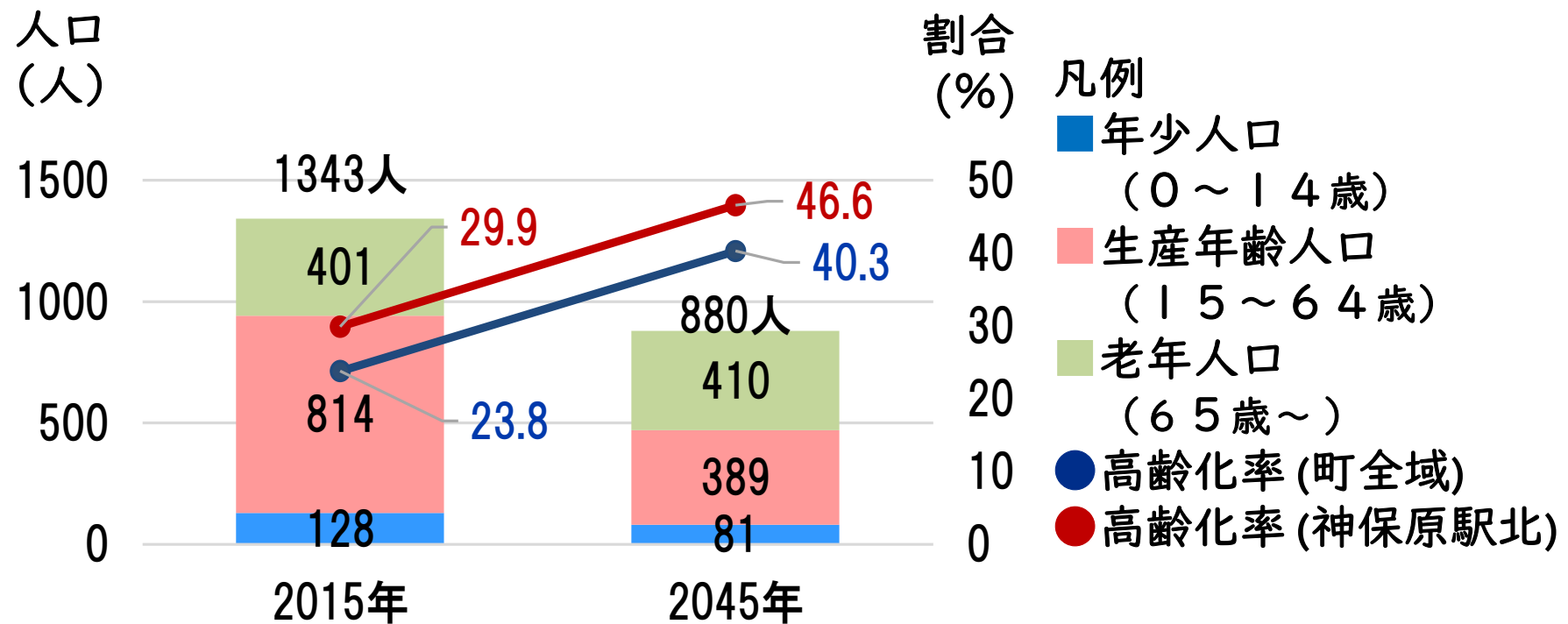


- 幹線道路網の充実
- 駅周辺のほか、幹線道路沿いに建物(住宅地や商業施設)が多くなっている
- 神保原停車場線周辺では、土地利用の変化が起こっている
- 桑畑でなく、水田が多くなった

2.まちづくりの考え方

(2)今後のまちづくりの考え方

- ・駅北側は人口減少、高齢化が進む
- ・高齢化率は町全域の値と比べ高い傾向
- ・賑わいの創出や持続可能な発展へどのように結び付けていくかが課題



2.まちづくりの考え方

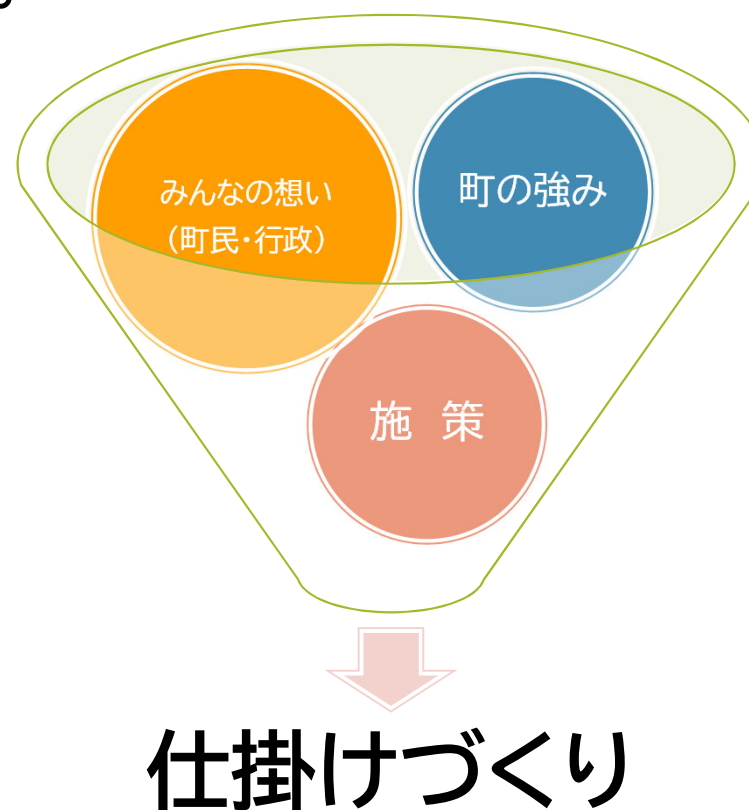
(2)今後のまちづくりの考え方

下記の3つの要素を生かし、駅周辺のまちの活力を生み出す「仕掛けづくり」が必要です。

①みんなの思い

②施策(ウォーカブル)

③上里町の強み



2.まちづくりの考え方

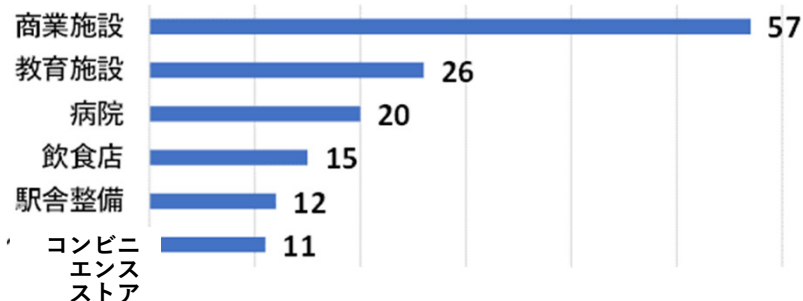
(2)今後のまちづくりの考え方

①みんなの思い『駅周辺を、再び「**みんなが集まる場所**」にしたい・・・』

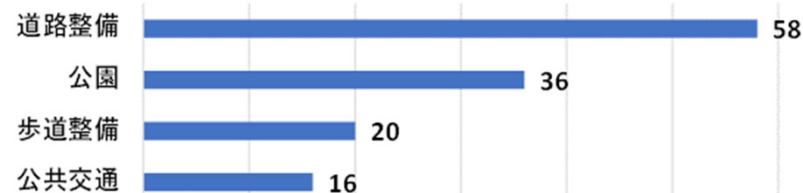
町民の思い

駅周辺が、安全で便利な場所になってほしい。

【施設】



【その他】



◆2021年(令和3年)3月実施町民アンケート調査より抽出

行政の思い

駅周辺は町の「中心拠点」である。



◆上里町 都市計画マスタープランより

2.まちづくりの考え方

(2)今後のまちづくりの考え方

②施策(ウォーカブル)

「居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり」

～ウォーカブルなまちなかの形成～



◆国土交通省資料より

2.まちづくりの考え方

(2)今後のまちづくりの考え方

③上里町の強み

広域的な交通網



JR高崎線、国道17号、国道17号バイパス、関越自動車道等、交通網が充実。

優れた農産物と加工品



種子小麦「さとのそら」の生産が盛んである。また、小麦の加工食品がインターチェンジ周辺を中心に販売。

町民と一緒に進めるまちづくり



タウンミーティングやワークショップが行われており、町民の方と一緒に検討を進めている。

2.まちづくりの考え方

(3)まちづくりのテーマ・基本方針

◆まちづくりのテーマ

ここに住み続けたい 誰もが「イキイキ」する街

かつて製糸工場があり人や物が集まる、地域の拠点となっていた、

神保原駅周辺を再び「みんなが集まる場所」にしていくために、

駅前通りの整備を中心に、

様々な仕掛けを行い、「選ばれるまち、住み続けたいまち」

と思える場所にしていきます。

2.まちづくりの考え方

(3)まちづくりのテーマ・基本方針

❖まちづくりのテーマ

ここに住み続けたい 誰もが「イキイキ」する街

誰もが「イキイキ」する街』とは…

- ①生活に必要な施設が「便利に利用できる」街
- ②余暇活動で一息つくときに「訪れたくなる」街
- ③いつでも「自分らしく生きる」ことができる街
- ④多彩な人やモノが行き交い、「活力が生まれる」街

2.まちづくりの考え方

(3)まちづくりのテーマ・基本方針

❖誰もが「イキイキ」する街の実現に向けた「まちづくりの基本方針」



- ①「安全・安心」な場所づくりを行います。
沿道空間・駅周辺の安全性を確保し、安心して過ごすことができる空間づくり



- ②「楽しみ、活力がみなぎる」場所づくりを行います。
新たな人を呼び込み、選ばれる町となるような魅力的なまちづくり



- ③「便利で、住み続けたい」場所づくりを行います。
沿道空間・駅周辺の改善により、安全な環境で、生活利便施設の立地を推進

2.まちづくりの考え方

(4)まちづくりの課題と整備の基本的な方向性

神保原停車場線(駅前通り)や駅周辺の道路の課題

- ・交通事故発生危険性が高い
- ・東側からのアクセス性が悪い
- ・災害時や緊急車両の通行への支障や歩行時に危険
- ・歩行者や自転車が安全に通行できない
- ・夜間の歩行が危険な箇所がある



課題解決のために・・・

- ・誰もが、いつでも安全に安心して通行できる空間の整備を推進
- ・駅東側からのアクセス性の改善



2.まちづくりの考え方

(4)まちづくりの課題と整備の基本的な方向性

神保原駅及び神保原駅北口駅前広場の課題

- ・乗降場が未整備のため、駅まで円滑に移動ができない
- ・歩道がないため歩行者と車の事故の危険性がある
- ・送迎の時に雨風をしのげる待合所がない
- ・夜間の歩行や運転が危険。
- ・南北の行き来がしづらい



課題解決のために・・・

- ・誰もが、いつでもスムーズに通行できる空間の整備を推進
- ・駅前広場、駅舎等の交通結節点機能の改善検討、周辺環境の改善



2.まちづくりの考え方

(4)まちづくりの課題と整備の基本的な方向性

神保原駅北口周辺の利便性向上・賑わいづくりの課題

- ・駅前通り沿道に商業施設や飲食店が少なく、賑わいがない
- ・空き家(空き店舗)・空き地などが多い
- ・まちの景観や治安悪化への不安がある
- ・身近に公園や憩いの場がない
- ・生活に身近な施設(銀行や行政施設等)が少ない



課題解決のために・・・

- ・駅周辺に生活に必要な機能や、にぎわい向上のための機能を誘導
- ・楽しみ、憩える公園や広場などの公共空間を整備



2.まちづくりの考え方

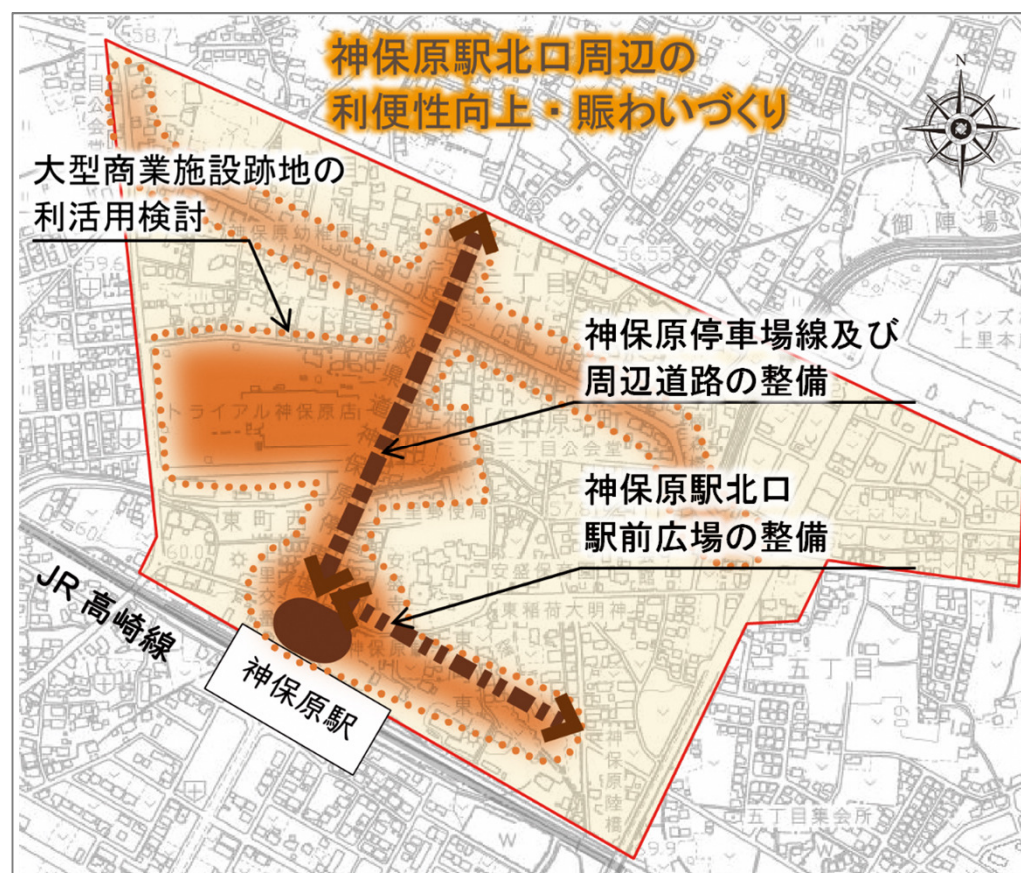
(4)まちづくりの課題と整備の基本的な方向性

「神保原停車場線の改善」について県に要望

「神保原駅や神保原駅北口駅前広場、周辺道路」の改善

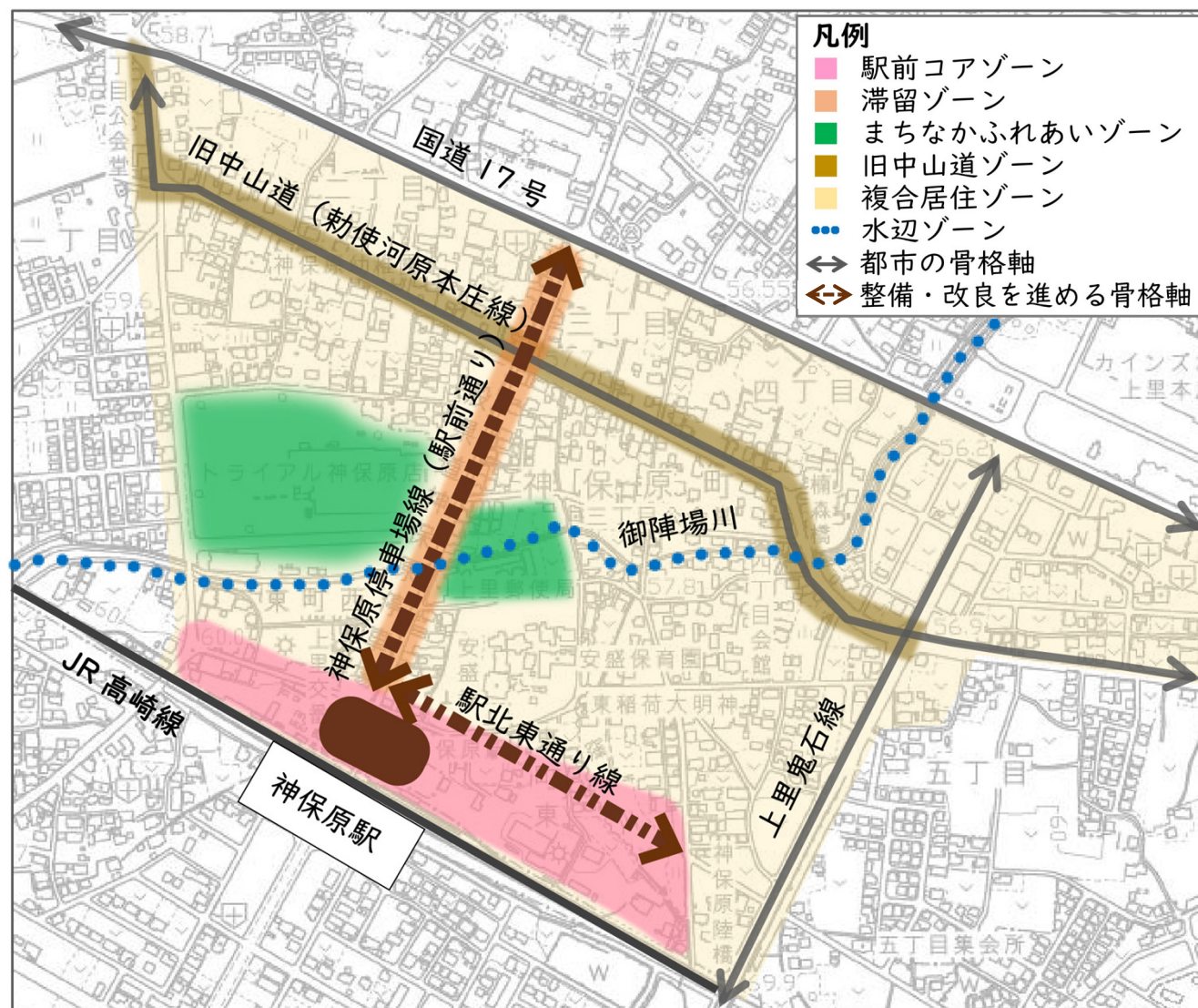


沿道や駅周辺の利便性向上
賑わいづくりに広げていく



3.まちづくりを実現するためのゾーン配置

ゾーンの配置と実現に向けた方策のイメージ



3.まちづくりを実現するためのゾーン配置

ゾーンの配置と実現に向けた方策のイメージ

駅前コアゾーン(神保原駅北口周辺)『まちの玄関口』



【関連テーマ】

- ・生活に必要な施設が「便利に利用できる」街
- ・多彩な人やモノが行き交い、「活力が生まれる」街

【ゾーンの方針】

- ・駅の出入口に直結するまちの玄関口
- ・日常生活利便性を高めまち全体の賑わいに繋げる

【実現に向けた主な方策のイメージ】

- ・商業機能や医療機能等の誘導
- ・交通結節点機能、アクセス機能等の交通環境の改善
- ・広場や公園等の整備

【ゾーンのイメージ】



◆多治見市 虎溪用水広場



◆名古屋市 金シャチ横丁

3.まちづくりを実現するためのゾーン配置

ゾーンの配置と実現に向けた方策のイメージ

まちなかふれあいゾーン

(大型商業施設跡地・郵便局周辺)『交流・憩いの場』



【関連テーマ】

- ・余暇活動で一息つくときに「訪れたくなる」街
- ・多彩な人やモノが行き交い、「活力が生まれる」街

【ゾーンの方針】

- ・多様な世代を惹きつける交流や憩いの場所

【実現に向けた主な方策のイメージ】

- ・公共的施設の整備
- ・交流機能や医療機能、教育機関などの誘導
- ・通信・金融機能の維持

【ゾーンのイメージ】



◆小諸市 こもテラス



◆小諸市 停車場ガーデン

3.まちづくりを実現するためのゾーン配置

ゾーンの配置と実現に向けた方策のイメージ

滞留ゾーン(神保原停車場線沿道)『まちをつなぐ場』



【関連テーマ】

- ・多彩な人やモノが行き交い、「活力が生まれる」街

【ゾーンの方針】

- ・駅北の様々なゾーンをつなぎ、人々が安全に安心して行き交うことができる場所

【実現に向けた主な方策のイメージ】

- ・商業機能の誘導
- ・駅へのアクセス機能等の交通環境の改善の検討
- ・広場等の整備
- ・緑化の推進

【ゾーンのイメージ】



◆松戸市 八柱さくら通り



◆川崎市 Kosugi 3rd Avenue

3.まちづくりを実現するためのゾーン配置

ゾーンの配置と実現に向けた方策のイメージ

旧中山道ゾーン(勅使河原本庄線沿道)『まちの資源』



【関連テーマ】

- ・余暇活動で一息つくときに「訪れたくなる」街

【ゾーンの方針】

- ・旧中山道の地域資源を生かして、人々が「まちを歩き、まちを知りたくなる」気持ちを高める場所

【実現に向けた主な方策のイメージ】

- ・歩きたくなる機能(散策ルートの案内板等)の整備
- ・商業機能の誘導
- ・緑化の推進
- ・石碑(庚申塔等)などの地域資源に配慮した整備の検討

【ゾーンのイメージ】



◆金沢市 ひがし茶屋街



◆上里町 旧中山道沿道

3.まちづくりを実現するためのゾーン配置

ゾーンの配置と実現に向けた方策のイメージ

複合居住ゾーン(複合住宅地)『くらしの場』



【関連テーマ】

- ・いつでも「自分らしく生きる」ことができる街

【ゾーンの方針】

- ・まちなかの住宅地として、ゆとりある住環境の維持向上
- ・「このまちに住みたい、住み続けたい」と気持ちを高める場所

【実現に向けた主な方策のイメージ】

- ・緑化の推進
- ・広場や公園等の整備

【ゾーンのイメージ】



◆松山市 みんなのひろば



◆白岡市 新白岡ニュータウン

3.まちづくりを実現するためのゾーン配置

ゾーンの配置と実現に向けた方策のイメージ

水辺ゾーン(御陣場川) 『まちなかの憩いの場』



【関連テーマ】

- ・余暇活動で一息つくときに「訪れたくなる」街

【ゾーンの方針】

- ・貴重な水資源により「まちなかふれあいゾーン」と一体的に「憩える空間」を演出
- ・「このまちに住みたい、訪れてみたい」気持ちを高める場所

【実現に向けた主な方策のイメージ】

- ・緑化、美化の推進
- ・散策路等の整備

【ゾーンのイメージ】



◆三郷市 二郷半領用水



◆調布市 野川公園